

現場の悩みや疑問を研究に繋げよう!

参加可能人数 先着30名

日時：2023年12月2日（土）14時40分～15時40分

場所：第5会場（1階研修室A）

◆ミニレクチャー：「臨床における看護研究の意義
/看護実践から研究に向けて」

講師：井上 京子(関西医療大学保健看護学部)

◆グループワーク

看護研究に興味はあるけれど、日常の多忙な業務の中で、研究のための時間、文献検索の環境などの支援の不十分さ、指導者の不足（そのスキル不足も含む）、あるいは研究のテーマが見つけれない、看護研究を行おうと思いつても、どのように進めていけばいいのかわからないという問題を抱えていて、実際の道のりとして、ハードルが高いと感じている方が多いのではないのでしょうか？

看護のプロフェッショナルとして、看護の質の向上のために必要不可欠な「臨床における看護研究」について、その必要性を再認識していただき、臨床の看護実践の中から研究につなげていくことに関する悩みや疑問について、参加者同士で、活発な意見交換を行い、情報の共有や交流をはかりたいと思います。

研究初心者の方、指導的立場の方、研究にご興味がある方は、ぜひご参加ください。

◆交流集会参加後のアンケートにご協力お願いいたします。



大阪府看護協会 学会委員会

井上 京子(関西医療大学保健看護学部保健看護学科)

西條秋恵 (府中病院)

塩賀朋子 (堺市立総合医療センター)

徳永里絵 (桜橋渡辺病院)

濱田紀子 (市立豊中病院)

藤野崇 (近畿大学病院)

南村二美代 (大阪公立大学看護学部看護学科)

山下春美 (八尾市立病院)